

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 15 日(2022.2.15)

【公開番号】特開 2020-130564(P2020-130564A)

【公開日】令和 2 年 8 月 31 日(2020.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2020-035

【出願番号】特願 2019-27359(P2019-27359)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【FI】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 333Z

A 63 F 7/02 315A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 4 日(2022.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、可変表示の表示結果が特定結果となったときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の動作を検出可能であって複数の部品で構成された検出手段と、

前記検出手段が検出可能な動作を遊技者が行うように促す促進演出を実行可能な促進演出実行手段と、

前記促進演出が実行される前に、特定演出画像の表示態様が変化する特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

30

を備え、

前記促進演出として、前記特定演出に応じて実行する特定促進演出と、前記特定演出と関連なく実行される所定演出に応じて実行する所定促進演出と、を含み、

前記促進演出実行手段は、前記特定演出画像と異なる特殊演出画像を用いて前記促進演出を実行可能であり、

前記特定演出実行手段は、

前記特定演出画像として、前記検出手段を構成する各部品を斜めから視した状態を模した複数の斜視部品画像を表示可能であり、

前記特定演出において、前記複数の斜視部品画像が分離している未完成段階の表示態様から前記複数の斜視部品画像の全てが組み立てられた完成段階の表示態様に前記特定演出画像を変化させることが可能であり、

40

前記特定演出において、分離している斜視部品画像を、遊技者の近傍となる画面手前側に位置しているように表示し、徐々に画像の大きさを小さく表示することで、遊技者の遠方となる画面奥方に位置しているように表示している斜視部品画像に近づくように表示し、前記特定演出画像として表示される前記複数の斜視部品画像は、前記検出手段を構成する各部品のうち、各部品により該検出手段が完成したときに遊技者から視認不能となる部分を有する内部部品の斜視部品画像を含む一方、所定部品の斜視部品画像を含んでおらず、前記内部部品の斜視部品画像は、前記内部部品が有する形状の一部が省略された簡略化画像であり、

50

前記促進演出実行手段は、

前記促進演出を、第 1 態様と該第 1 態様の促進演出が実行される場合よりも前記有利状態となる割合が高い第 2 態様とを含む複数種類の態様にて前記促進演出を実行可能であり、前記特定演出において前記特定演出画像の表示態様が前記完成段階の表示態様に化したときに前記第 2 態様にて前記促進演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 A の遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、可変表示の表示結果が特定結果となったときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の動作を検出可能であって複数の部品で構成された検出手段と、

前記検出手段が検出可能な動作を遊技者が行うように促す促進演出を実行可能な促進演出実行手段と、

前記促進演出が実行される前に、特定演出画像の表示態様が変化する特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

を備え、

前記促進演出として、前記特定演出に応じて実行する特定促進演出と、前記特定演出と関連なく実行される所定演出に応じて実行する所定促進演出と、を含み、

前記促進演出実行手段は、前記特定演出画像と異なる特殊演出画像を用いて前記促進演出を実行可能であり、

前記特定演出実行手段は、

前記特定演出画像として、前記検出手段を構成する各部品を斜めから視した状態を模した複数の斜視部品画像を表示可能であり、

前記特定演出において、前記複数の斜視部品画像が分離している未完成段階の表示態様から前記複数の斜視部品画像の全てが組み立てられた完成段階の表示態様に前記特定演出画像を変化させることが可能であり、

前記特定演出において、分離している斜視部品画像を、遊技者の近傍となる画面手前側に位置しているように表示し、徐々に画像の大きさを小さく表示することで、遊技者の遠方となる画面奥方に位置しているように表示している斜視部品画像に近づくように表示し、前記特定演出画像として表示される前記複数の斜視部品画像は、前記検出手段を構成する各部品のうち、各部品により該検出手段が完成したときに遊技者から視認不能となる部分を有する内部部品の斜視部品画像を含む一方、所定部品の斜視部品画像を含んでおらず、前記内部部品の斜視部品画像は、前記内部部品が有する形状の一部が省略された簡略化画像であり、

前記促進演出実行手段は、

前記促進演出を、第 1 態様と該第 1 態様の促進演出が実行される場合よりも前記有利状態となる割合が高い第 2 態様とを含む複数種類の態様にて前記促進演出を実行可能であり、前記特定演出において前記特定演出画像の表示態様が前記完成段階の表示態様に化したときに前記第 2 態様にて前記促進演出を実行可能である、

ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、可変表示の表示結果が特定結果となったときに遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技者の動作を検出可能な検出手段（例えば、コントローラセンサユニット 3 5 A を含む

10

20

30

40

50

スティックコントローラ 3 1 A や プッシュセンサ 3 5 B を含む プッシュボタン 3 1 B 、 ハンドルセンサ (図示略) を含む打球操作ハンドル 3 0 など) と、

前記検出手段が検出可能な動作を遊技者が行うように促す促進演出を実行可能な促進演出実行手段 (例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が、スティックコントローラ 3 1 A または プッシュボタン 3 1 B の操作有効期間において、スティックコントローラ 3 1 A または プッシュボタン 3 1 B が検出可能な動作を遊技者が行うように促す操作促進演出を実行可能な部分。図 8 - 1 9 (A) (B) 参照) と、

前記促進演出が実行される前に、特定演出画像の表示態様が段階的に変化する特定演出を実行可能な特定演出実行手段 (例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が、スーパーリーチ演出において操作促進演出を開始する前に、該操作促進演出に用いるコントローラ画像 Z 1 や プッシュボタン画像 Z 3 に関連する部品画像 Z A 1 ~ Z A 5 、 Z C 1 ~ Z C 5 を段階的に表示する部品集合演出を実行可能な部分。図 8 - 1 4 ~ 図 8 - 1 6 参照) と、

を備え、

前記促進演出実行手段は、

前記促進演出を、第 1 態様と該第 1 態様の促進演出が実行される場合よりも前記有利状態となる割合が高い第 2 態様とを含む複数種類の態様にて前記促進演出を実行可能であり (例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が、操作促進演出において、図 8 - 1 9 (A) に示すように、画像表示装置 5 にスティックコントローラ 3 1 A を模したコントローラ画像 Z 1 と「引け！」なる文字画像 Z 2 を表示するか、図 8 - 1 9 (B) に示すように、画像表示装置 5 に プッシュボタン 3 1 B を模した プッシュボタン画像 Z 3 と「押せ！」なる文字画像 Z 4 を表示する部分) 、

前記特定演出において前記特定演出画像の表示態様が特定表示態様に変化したときに前記第 2 態様にて前記促進演出を実行可能であり (例えば、演出パターン P T 2 - 2 、 P T 2 - 3 に基づく集合成功の部品集合演出が実行された場合、演出パターン P T 2 - 1 に基づく集合失敗の部品集合演出が実行された場合よりも高い割合で、操作促進演出においてコントローラ組立演出を経てスティックコントローラ 3 1 A の操作が促進される部分。図 8 - 1 0 参照) 、

さらに、

前記有利状態に制御される確率が異なる複数段階の設定値 (例えば、最も遊技者にとって不利な設定値である 1 から最も遊技者にとって有利な設定値である 6 までの値など) のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段 (例えば、図 9 - 1 5 の設定値変更処理を実行する CPU 1 0 3 など) と、

前記有利状態の終了後に、前記有利状態に制御される確率が通常状態よりも高い特別状態に制御可能な特別状態制御手段 (例えば、大当たり遊技状態が終了した後に、大当たり種別に応じて、確変状態に制御する CPU 1 0 3 など) と、を備え、

前記特別状態に制御されているときの可変表示の表示結果として、前記特定結果とは異なる表示結果の一部である所定結果を表示する割合を、前記設定手段で設定されている設定値に応じて異ならせる (例えば、ステップ 0 4 8 A K S 0 1 0 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など) 、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定演出画像の表示態様が特定表示態様に変化して促進演出が第 2 態様にて実行されることに対する期待感を段階的に高めることができるため、遊技の興趣が向上する。また、特別状態中における可変表示の表示結果によりいずれの設定値に設定されているかが示唆されるため遊技興趣を向上させることができる。

10

20

30

40